



陣内俊 Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESIGN WORKS /2008/All Rights Reserved

2013年6月-7月号
Vol.32

支援者の皆様へ

支援者の皆様へ

支援者の皆様、こんにちは。いつもお祈り、ご支援を心より感謝いたします。4月、5月は忙しい日々が続きましたが、皆様のお祈りに支えられ、各地での奉仕を無事果たすことが出来ました。FVIの働きが3年目を迎え、これから神様が働きと自分の人生をどのように導いておられるか、本格的に祈る時期に差し掛かっているように感じています。私の人生が神の栄光のため、人々のためにこれからも有益に用いられるよう、しっかり聞いて行きたいと思えます。皆様もお祈り下さり、必要なお助言をいただけたら幸いです。

■6月、7月のアフリカ渡航のためにお祈りください。

6月10日から7月16日まで、エチオピアとガーナを訪問します。FVIの海外協力事業を通して支援させていただいてきたエチオピアのストリートチルドレン支援の働きなどを視察し、ガーナでは同じくFVIを通して相互交流を開始した、クリス氏らによる、「愛の種蒔き運動」の実践の現場を視察し、今後日本からのスタディツアーの可能性を探る下見の目的で訪問します。同伴する妻と共に体調が守られ、神が見させ、聞かせたいと願っておられることを見聞きしていただくことが出来るよう、お祈り下さい。

活動報告

福島未来会議4～聞き屋サミット～ (5月2～4日)

ゴールデンウィーク中の5月2～4日、南は沖縄、北は岩手から「全国聞き屋サミット」に集まった34名の参加者と共に、福島県「国立磐梯青少年交流の家」で過ごしました。FVIは①聖書的世界観 ②神の国のビジョン ③聴き方ワークショップ ④参加者からの証 ⑤次世代を育てる という5つのテーマについて、参加型のセミナーを導きました(これらのセッションの一部はホームページから視聴していただけます。URL:karashi.net/fukushima/forum04.html)。

今から9年前の2004年11月は、私の人生を変えた「カイロス(神の時)」でした。豊橋駅での「聞き屋ボランティア」を始めた月です。仲間と夜の豊橋駅でゴミ拾いをしたことから、



「心のゴミ拾い＝聞き屋ボランティア」へと発展していきました。その後私は拠点を東京に移しましたが、現在も妻や教会のメンバーたちと、吉祥寺、池袋、江古田などの場所で聞き屋ボランティアを行っています。また、9年間で少しずつ、草の根的に増え広がって行



った全国の「聞き屋ボランティア」たちにより、「一度でも聞き屋が出現したことのある駅」は20を超えました。各地での聞き屋の活動は、テレビや新聞などのメディアでも紹介されるようになっていきました。

全国には今、9,500以上の駅があるそうです。途方もない話かもしれませんが、いつの日か、全国のどの駅でも「聞き屋ボランティア」が行われている姿を私は時々思い描いています。そのとき人々は今よりは「自分が孤独でない」ことを信じられる社会に住むことが出来るのではないのでしょうか。また、「生活の中で、隣人への傾聴を心がける人」がもっともっと増えることで、コンビニに入るように頻繁に「自分のために関心を寄せてくれる誰か」に出会える社会が実現したら、日本社会は「神の国」に一步近づいたと言えるのではないのでしょうか。

豊橋駅でまだ聞き屋をしていたころ、「聞き屋」が一同に会して共に実践の成果や課題を分かち合い励まし合う機会を持ちたいと私は考え始めました。当時は市役所での仕事も忙しく、実際にそのようなことを実現するなどというのは突飛なことには思えました。今回、9年の歳月を経て実現した「全国聞き屋サミット」は、私にとって長年の「夢」でした。2004年の11月に、豊橋駅でひとつのゴミくずを拾ったところから始まったストーリーを、神様が少しずつ、少しずつ成長させ、展開させてくださっているのを感じます。そして、このストーリーはまだ始まったばかりだと思っています。先日、池袋で聞き屋ボランティアを行っていると、すぐ近くの街頭で、とある政党が、「日本の社会を変える！」と演説をしていました。選挙活動中のスタッフが、聞き屋をする私たちの姿を写真に撮っていました。世の中が神の願う姿に変えられていくために、政治も必要ですが、同時に、聞き屋ボランティアや「名もなき傾聴者」のような草の根の活動もまた必要です。上からも下からも、社会は変革される必要があります。まだ小さくはありますが、この「うねり」が、社会に正の連鎖をもたらし、神の国の「波紋」を拡げていくことを願っています。



■ 奉仕と活動 祈りに支えられ、次の場所で働きをさせていただきました。関係した方々に感謝いたします。

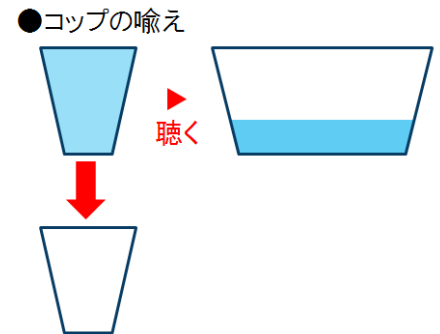
月日	内容	場所
4月28日	礼拝メッセージ	練馬グレースチャペル
5月2～4日	福島未来会議4 全国聞き屋サミット	国立磐梯青少年交流の家
5月18日	隣人を愛する習慣作りセミナー（第4回）	高座教会（神奈川県大和市）
5月25日	聴き方ワークショップ	福島県いわき市
5月31日～6月2日	ユース祈り会	ソウル（韓国）
継続的に	FVI事務局の働き	練馬、立川、吉祥寺など各地

話を「聴く」こと。(聴き方ワークショップ)

今回は、これまでご要望に応じて全国各地で開催してきた「聴き方ワークショップ」の要約を、この紙面でご紹介させていただきます。

■「聴く」とは何か？～コップの喩え～

ストレスの多い現代社会では、多くの人々がネガティブな感情(心のゴミ)を抱えて心がいっぱいになっています。これを「コップの水」と喩えると、「聴く」とは、そのいっぱいになったコップの隣に「空の器(聴き手)」を置き、水を移して差し上げる行為、と言えます。傾聴する側も、定期的に誰かに「話を聴いてもらう」必要があることがここから分かります。



■聞く技術

- ① オウム返し 自分の評価、判断を横に置き(冷凍庫に入れて鍵をかけておく)、相手の話したことをそのまま繰り返します。批判せず繰り返すことで、相手に「受容」のメッセージを伝えます。話者:「辛かったです。」→聴き手:「辛かったですね。」という風に。実際やってみると、思いのほか難しいことに気が付きます。上級者のオウム返しは、「感情のオウム返し」と言います。話者:「Aさんが陰で私の悪口を言っているんです。」→聴き手:「Aさんに悪口を言われたと思うと、くやしく、寂しい気持ちです。」人は感情を受容されていると分かったら、それだけで気持ちが和らぎます。
- ② 質問 話している人も気が付かず、話が核心からそれて行くことがあります。特に男性は、自分の心の中を自分でも見たくない、という潜在意識が働き、個人的な話より一般的な話、具体的な話より抽象的な話にそれる傾向があります。聞き手が自然な形で「支流」にそれた話を「主流」に引き戻し、核心に迫る話(多くの場合それは個人的な感情の話です)に導くのが、「質問」です。「差支えなければ、先ほどの家族との確執の話も、もう少し詳しく聞かせていただいても良いですか？」などの質問がそれです。
- ③ リフレーズ(言い換え) 相手の話した内容を要約、喩えなどを用い、自分の言葉で言い換えます。「、、それはつまり〇〇ということですか？」これにより話している人は、自分の話が大切にされている、と感じ、安心して話を続けられます。

■聴くことの効用

①「あなたは大切な人です」という無言のメッセージを伝える

相手の話をさえぎって自分が話し始めるとするのは、「あなたの話は(私の話よりも)大切ではない」と言外に伝えているのと同じです。逆に相手の話をさえぎらず、教えず、裁かず、最後まで全身全霊で聴くときに、私たちは相手に、「あなたの話は(私の話よりも)大切です。」「あなたは大切な人です。」「あなたは傾聴される価値のある人です。」と無言で言っているのです。

②親しい友人が出来る

人と人のつながりは、パズルのようです。人の話を深く聴く(理解する)ことが出来るというのは、ジグソーパズルの凹んだ部分が深く大きいことを意味します。逆に人の話をまったく聴くことが出来ないということは、凹面のない垂直なパズルのピースのようなものです。友人を作る能力は、多くの人が考えているとは逆で、「話す能力」より、「聴く能力」に強く依存します。私たちの親友は、私たちのことを深く理解してくれている人ではないでしょうか。私たちが誰かを深く理解する(聴く)ことが出来るなら、私たちは多くの親友を得るのです。耳は、しばしば口よりも雄弁です。

「まやかしの証人は滅びる。しかし、よく聞く者はいつまでも語る。」 聖書 箴言 21:28

祈りの課題

◇私たち夫婦の内に、イエス様の似姿が形作られるようにお祈りください。

◇エチオピア、ガーナで良き出会いがあるようにお祈り下さい。

◇1か月の日本不在期間も、FVIの働きが維持され、神様の素晴らしさが現されますようにお祈り下さい。

今後の予定

月日	内容	場所
6月4日	講演会	関東学院高校
6月5～7日	関東学院高校1年生宿泊修養会	山梨県
6月10～7月2日	Harvest/WSG Ethiopia 訪問	エチオピア
7月3～16日	からし種エイジェント育成プログラム	ガーナ
8月上旬	関西方面巡回	大津、広島、山口など
9月21、22日	WFD 安曇野大会	安曇野市（長野県）
9月27日	WFD 那須野ヶ原大会	大田原市
10月12日	恋愛・結婚セミナー	武蔵野福音自由教会
10月下旬	WFD 岡山大会	岡山市
随時継続的に	国内啓発活動およびフォローアップ	国内各地
随時継続的に	F V I 事務局の働き	練馬など各地

連絡先

〒443-0013 愛知県蒲郡市大塚町伊賀久保 100-2 国際クリスチャンバプテスト教会内 「陣内俊を支える会」

Email shun@karashi.net ブログ URL : <http://ameblo.jp/shunjinnai-kingdomcome/>

支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援にご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。ご支援を心より感謝いたします。

- ゆうちょ銀行口座番号 12110-91889141 名義：「陣内俊を支える会」
- 他行からの振込 店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）（089）預金種目：当座
口座番号：0142825 「陣内俊を支える会」
- 郵貯振替口座番号 00830-1-142825 名義：「陣内俊を支える会」
(同封の振込用紙がご利用いただけます。)

*振込用紙をご入り用の方、ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方はお知らせください。

*2カ月に一度、プレイヤーレターに2枚（2か月分）お送りさせていただく振替口座の振込用紙（赤色・手数料当方負担）を同封させていただきますが、振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。お振込くださるときにご利用ください。

*Prayer Letterの購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。